One for Children, All for Children

久我山青光学園

学園便り 11 月号
校長　田島　忍
令和８年 10 月 30 日発行

地域とのつながりの中で

副校長　　若林　加奈子

木々の葉が色づき、秋の深まりを感じる頃となりました。朝晩の冷え込みにも、少しずつ冬の訪れを感じます。過ごしやすい秋は、学校の外に出たり、地域の方々と触れ合ったりする機会も多い季節です。今回は、本校が大切にしてきた「地域との交流」について紹介します。

本校では、地域の学校と互いに行き来しながら、共に授業や活動に取り組む機会を設け、交流を大切にしてきました。また、副籍制度を活用し、児童・生徒が居住する地域の学校との交流も行っています。地域の同年代の友達と関わり、共に学ぶことは、子供たちにとって貴重な経験となります。また、地域の学校の幼児・児童・生徒にとっても、本校の子供たちとの関わりを通して、障害について知り、互いを理解する機会になっています。

７月には、視覚障害教育部門中学部が、都立三鷹中等教育学校と烏山中学校の部活動交流を行いました。交流では、視覚障害やフロアバレーボールについて知る時間を設けた後、実際にフロアバレーボールを一緒に楽しみました。こうした活動を通して、生徒同士が交流を深めるとともに、視覚障害や障害者スポーツへの理解を深める機会としています。

子供たちの学びは、学校の中だけで完結するものではありません。地域の様々な人と出会い、共に活動し、多様な経験を重ねることで、学びの世界はさらに広がっていきます。 また、こうした交流が、地域の皆様に本校や障害について知っていただく機会となり、互いを理解し、自然に関わり合える関係につながっていくことを願っています。

これからも、地域の皆様とのつながりを大切にしながら、子供たちの豊かな学びと成長につながる教育活動を進めてまいります。引き続き、本校の教育活動への御理解と御支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

視覚障害教育部門　中３修学旅行

教諭　小林　匠

視覚部門中学部３年生は、９月 28 日（月）から 30 日（水）まで、２泊３日で千葉方面に修学旅行に出掛けました。訪問先では、様々な新しい経験を積むことができました。宿泊先のホテルでは、朝夕のバイキングで、友達と話しながらゆっくりと食事を味わうなど、たくさんの思い出を作ることができました。３日間を通して、「科学技術、海外の文化、海の自然」と、様々な角度から知識を広げ、理解を深める時間になりました。



視覚障害教育部門　小１～４秋の遠足

教諭　山梨　真結

10 月８日（木）、小学部１～４年生は秋の遠足で井の頭自然文化園に行きました。

資料館にて、飼育員の方のお話を聞き、モルモットに直接触れたり、おやつのリンゴをあげたりしました。みんなも興味をもって参加することができました。

園内の自由散策では、様々動物を見たり、動物たちの鳴き声や音を聞いたりしながら楽しみました。また、遊具も、楽しむことができました。

お昼は、みんなでおいしいお弁当を食べ、帰りは吉祥寺駅まで歩きました。電車に乗って久我山駅まで向かいました。久我山駅から学校までも歩き、全員けがなく無事に帰ってくることができました。

子供たちは、様々な体験や友達との時間を通して、たくさんの学びや思い出をつくることができました。

知的障害教育部門　中１移動教室

教諭　潮地　佑

10 月８日から９日までの１泊２日で、中学部 1 年生が移動教室を実施しました。コニカミノルタサイエンスドームや相模川ふれあい科学館では、様々な展示や生き物を見学し、楽しみながら多くの発見や学びを得ることができました。また、藤野芸術の家ではサンドブラスト体験に取り組み、ものづくりの楽しさを味わいました。

宿泊先の「ふじの体験の森やませみ」では、司会係や食事係、布団係など、一人一人が自分の役割を担当しました。教員や友達と声を掛け合い、協力しながら、責任をもって活動する姿が多く見られました。

２日間を通して、普段の学校生活ではできない様々な経験をし、友達と一緒に活動する楽しさを感じることができました。たくさんの思い出とともに、生徒たちの成長を感じられる移動教室となりました。